**迅速審査申立書**

いずれかの緊急時に当てはまりますか。

□　発表予定が3ヶ月以内である。

　　（期限：　　　年　　　月　　　日：理由　　　　　　　　　　　　　）

　　例）学会発表、学会要旨公表（発表申請して3ヶ月程度で公表可能性あり等）

□　法的対応期限が３ヶ月以内である。

　　（期限：　　　年　　　月　　　日：理由　　　　　　　　　　　　　）

　　例）新規性喪失の例外適用期限※、優先権主張出願

　　　　※　既発表を基に出願する場合、発表から1年以内が期限です。）

□　上記以外の都合

　　（期限：　　　年　　　月　　　日：理由　　　　　　　　　　　　　）

　　例）長期出張等で直近にヒアリング対応等が不可能である。

　　例）共同研究先等から緊急の対応が求められている。

　　例）共同研究が決まっており、その前に発明内容を確定させたい。

確認事項

・職務発明判定について

　　□ 発明者に学生（職員以外）を含まない。

　　□　発明者に学生（職員以外）を含む。

　　　　※　譲渡手続きが別途に必要な場合があります。知財室にご相談ください。

・発明資料について

　　□　詳細資料（投稿論文、明細書案等）がすぐに提供可能である。

　　□　詳細資料等はない。（　　　　　　週間）以内に完成。

・第三者（AMEDや企業等）との関連について

　　□　出願に際して報告、許諾等の第三者はいない。

　　□　出願に際して報告、許諾等の第三者がいる。

　　　　□未報告

　　　　□報告済み（報告相手・連絡先：　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　※　AMED等の受託事業の場合、事前報告等が必要な事業があります。

連絡事項

・希望する対応（複数可、優先順位がある場合は順番を教えてください。）

　　□　知財室経費で出願

　　□　第三者（共同研究相手等）の費用負担で出願

　　□　研究室による費用負担（校費、間接経費、寄付金）で出願

　　□　個人帰属

　　□　可否でさえあれば何でもいい。

　　□　他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・他者技術調査、市場調査等の資料（ある場合はご提供ください。）

　　□　なし。

　　□　先行文献調査資料がある。

　　□　市場調査資料がある。

　　□　他（　　　　　　　　　　　　　　　　の資料がある。）

・出願の目的、利用方法等について

　　（目的等：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　例）○○事業への公募/成果のため、○○事業化計画があるため。

　　例）起業の予定がある。ライセンスする予定がある。

**上記内容で、迅速評議の申立書を発明届とともに提出します。**

**年　　月　　日**

**発明者（代表連絡者）氏名：**